

### 食育・地産地消専門委員会



食育・地産地消専門委員会（鈴木ゆり委員長）の食育教室が、昨年10月19日に（社福）あつみ福祉会あつみ保育園（齋藤裕子園長）で行われました。

食育・地産地消専門委員会では、委員長以下15名が食育教室を行ってきましたが、今回、第4期最後の活動となりました。

当日はあつみ保育園の協力のもと、年長組（5歳児）17名を対象に、委員等11名が参加して『つや姫』を使った「おにぎり教室」を開催しました。

子どもたちには、米を研ぐ体験、米のお話から始め、透明な鍋で米の炊き上がりていく様子を観察してもらいましたが（写真参照）、米が舞い上がって炊き上がる様子を目をキラキラさせて見ていました。

炊き上がったごはんのおにぎり作り体験（表紙参照）、つや姫体操や絵本、紙芝居の読み聞かせの後、委員と園児が一緒になって食事会を行い、おにぎりをほおぼりながら、好きな食べ物や遊びのことなど、いろいろな話をして交流しました。

食育・地産地消専門委員会は新委員、推進委員にも引き継がれ、これからも、食育教室をはじめ、地産地消推進の活動を行ってまいります。



## 専門委員会活動報告(第4期委員)

### 農業振興・担い手専門委員会

農業振興・担い手専門委員会（上林淳委員長）は、昨年の10月12日に若手農業者、山形大学農学部学生との交流事業を実施しました。

当日は、若手農業者4名、農学部学生12名と、同委員等11名が若手農業者の農作物栽培ほ場を見学して栽培状況の説明を受けたのち、意見交換を行い、交流を深めました。

最初は石向多恵氏（藤島）の露地ねぎの栽培ほ場を見学し、排水などのほ場条件に苦労している状況や今後の経営展開などの説明を受けました。

2カ所目は伊藤恒幸氏（鶴岡）の藤沢かぶの栽培ほ場で、農作業の大変さや在来野菜を栽培していることへの誇り等、興味深い話を伺いました。

その後、第三学区コミセンに会場を移しての意見交換会で、それぞれの農業に

対する思いや、現状などを話し合い、若手農業者の必要とすることや、学生の現状等、貴重な話を聞くことが出来ました。引き続き情報交換会も行い、有意義な交流会となりました。

第5期の委員会でもこのような事業等で若手農業者等との交流を図っていく予定です。



藤沢かぶのほ場を見学中